

「令和3年度版 東京都内の自立支援協議会の動向」調査票(案)

区市町村名

【名称】

【ホームページURL】

【設置年月】

【運営方法】

【組織図】

--

【相談支援体制の整備状況】

次の各欄に、それぞれの事業所数を記入してください。

基幹相談支援センター数	委託相談支援事業所数	指定一般相談支援事業所数		指定特定相談支援事業所数	指定障害児相談支援事業所数
		地域移行支援	地域定着支援		

【地域生活支援拠点等の整備状況】

地域生活支援拠点等の整備状況について、次の①～③の番号から選び、整備時期を記入してください。整備時期が未定の場合は、「未定」と記入し、確定していない場合は、「令和〇年度」、「令和〇年」、「令和〇年〇月頃」と記入してください。

- ① 整備済 ② 整備中 ③ 検討中

次に、整備類型について、次の①～⑤の番号から選んでください。「④ その他」を選んだときは、() 内に具体的な内容を記入してください。

- ① 多機能拠点整備型 ② 面的整備型 ③ 多機能拠点整備型+面的整備型
④ その他() ⑤ 未定

整備状況	整備時期	整備類型

【日中サービス支援型共同生活援助の有無】

(1) 日中サービス支援型共同生活援助の有無

日中サービス支援型共同生活援助の有無について、次の①～③の番号から選び、開設時期を記入してください。開設時期が未定の場合は、「未定」と記入し、確定していない場合は、「令和〇年度」、「令和〇年」、「令和〇年〇月頃」と記入してください。

- ① あり ② 開設予定あり ③ なし

開設の有無	開設時期

(2) 自立支援協議会等への日中サービス支援型共同生活援助に関する事業報告・評価状況

(1) で「① あり」「② 開設予定あり」と回答された場合のみ回答してください。

地域協議会で、事業の実施状況等の報告を受け、必要な要望や助言等を行う機会を設けていますか。次の①～②の番号から選んでください。

- ① 設けている ② 設けていない

【全体会及び専門部会の活動回数及び委員数】

全体会及び専門部会の活動回数と委員数を記入してください。

なお、障害当事者（本人）で委員に就任されている方の人数を、「委員数」の（ ）内に再掲してください。

全体会の活動回数及び委員数

専門部会の活動回数及び委員数

全体会	
回数	委員数
	()

部会名	回数	委員数
		()
		()
		()

※「委員数」の（ ）：障害当事者（本人）で委員に就任されている方の人数（再掲）

【全体会の委員構成及び活動内容】

(1) 委員構成 記入の必要はありません。委員名簿の人数が反映されます。

種別	人数	種別	人数	種別	人数
学識経験者		医療関係者		保健所	
教育関係機関		雇用関係機関		企業	
障害当事者・家族・関係団体		身体・知的障害者相談員		相談支援事業者	
障害福祉サービス等事業者		社会福祉協議会		法曹関係者	
民生委員・児童委員		地域住民		行政職員(区市町村)	
行政職員(都)		その他			
合計					

委員名簿

「種別」欄は、(1)委員構成の種別から選んでください。「その他」を選んだ場合は、その内容を記入してください。

No.	役職	氏名	所属	種別	備考
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					

(2) 活動内容 全体会の活動内容を記入してください。

【専門部会の委員構成及び活動内容】

専門部会別に委員構成の種別ごとの人数を記入してください。

(1) 委員構成

部 会 名 種 別					
学識経験者					
医療関係者					
保健所					
教育関係機関					
雇用関係機関					
企業					
障害当事者・家族・関係団体					
身体・知的障害者相談員					
相談支援事業者					
障害福祉サービス等事業者					
社会福祉協議会					
法曹関係者					
民生委員・児童委員					
地域住民					
行政職員(区市町村)					
行政職員(都)					
その他					
計					

(2) 活動内容 専門部会別に活動内容を記入してください。

部 会 名	活動内容

問2 地域協議会はどのような役割を果たしていますか。次の①～⑫の番号から選び、内容を具体的に記入してください。（果たしていると思われる項目の番号をすべて選んでください。）

<情報機能>

- ① 情報の顕在化
- ② 情報共有・情報発信

<調整機能>

- ③ 分野を越えてのネットワークの構築
- ④ 各分野の社会資源の共有化及び整合性の確認
- ⑤ 地域課題の整理
- ⑥ 課題解決に向けての検討
- ⑦ 障害福祉計画等の進捗管理や調整

<開発機能>

- ⑧ 社会資源の開発及び改善

<教育機能>

- ⑨ 構成員の資質向上・研修の場

<権利擁護機能>

- ⑩ 権利擁護・虐待防止

<評価機能>

- ⑪ 相談支援過程における評価（相談支援の質の評価、機関等及びそれらの連携に関する評価、施策に関する評価、政策作成に係る提言）

<その他の機能>

- ⑫ その他（ ）

※<〇〇機能>については、平成20年8月厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課作成資料「相談支援体制整備と地域自立支援協議会」より一部修正して引用しています。

番号

内容を具体的に記入してください。

問3 地域協議会における地域課題について伺います。

問3-1 地域協議会において具体的な地域課題はあがっていますか。次の①～③の番号から選んでください。

- ① あがっている
- ② あがっていない
- ③ わからない

問3-2 問3-1で「① あがっている」と回答された場合のみ回答してください。

地域協議会としてどのように地域課題を把握されましたか。次の①～④の番号から選んでください。（実施したものすべてを選んでください。）

- ① アンケート、ヒアリング等
- ② 全体会、専門部会、各種連絡会等
- ③ 個別支援会議
- ④ その他（ ）

問3-3 問3-1で「① あがっている」と回答された場合のみ回答してください。

地域協議会にあがった具体的な地域課題について、次の①～⑬の番号から選び、その課題に対して取り組んだ（取り組んでいる）内容又は取り組めなかった理由等を具体的に記入してください。

- ① 相談支援の質及び量
- ② 社会資源の開発及び改善
- ③ 権利擁護・虐待防止
- ④ 高齢福祉分野との連携
- ⑤ 福祉人材（マンパワー）の確保
- ⑥ 緊急・災害等対応
- ⑦ 医療的ケア
- ⑧ 障害児支援
- ⑨ 教育支援
- ⑩ 就労支援
- ⑪ 地域移行・地域定着支援
- ⑫ ライフステージを通じた支援
- ⑬ その他（ ）

番号

取り組んだ（取り組んでいる）内容又は取り組めなかった理由等を具体的に記入してください。

問3-4 問3-3に回答された場合のみ回答してください。

問3-3で地域協議会にあがった具体的な地域課題の中で、広域又は東京都全域で対応するほうが良いと考える課題がありましたら、その番号と理由等を具体的に記入してください。

番号

広域又は東京都全域で対応するほうが良いと考える理由等を具体的に記入してください。

問4 地域協議会（全体会及び専門部会）における当事者の参画について伺います。

問4-1 地域協議会（全体会及び専門部会）に当事者委員がいる区市町村のみ回答してください。

（1）地域協議会（全体会及び専門部会）の当事者委員について、どのような所属、背景、経歴等のある方かを記入してください。

一人の当事者委員が複数の所属・役割をお持ちの場合は、すべて記入してください。

（例：相談支援事業所等でピアスタッフとして従事している、ピアサポート活動をしている、団体からの推薦、相談支援事業所等の委員からの推薦、公募等）

（2）地域協議会（全体会及び専門部会）において、多様な当事者の委員（障害や難病の種別、性別、年齢等）に参加していただくに当たり、取り組んでいることはありますか。また、課題になっていることはありますか。広報や情報保障の仕方の他、委員選定や参加の方法など様々な視点で記入してください。

問4-2 当事者委員の有無に関わらず、地域協議会を設置している区市町村は回答してください。

当事者の委員だけでなく、地域で生活する多様な当事者（障害や難病の種別、性別、年齢等）の声を吸いあげられる地域協議会にするために、取り組んでいることはありますか。また、課題になっていることはありますか。広報やアンケートの実施、工夫していることなど様々な視点で記入してください。